

「マクロ経済スライド」と呼ばれる調整方式の完全実施と、厚生年金の保険料算

厚労省は、来年の法改正を目指す検討項目を絞り込む方針で、年金の充実・

いては、電力会社などに安全性の再評価を指示した。関西電力美浜、大飯、高浜、日本原子力発電敦賀の各原発と、日本原子力研究開発機構の高速増殖原型炉もんじゅは、周辺斜面の安定性も検討課題に追加した。

### 耐性評価報告書

### 提出条件が整う

四電・伊方原発

原発の緊急安全対策で電力会社の報告書に誤りが見つかった問題で、経済産業省原子力安全・保安院は11日、四国電力伊方原発（愛媛県）の再調査の結果について「問題点はない」と発表した。

四電は伊方原発3号機のスプレステスト（耐性評価）の報告書を保安院に提出する方針だが、その前提条件が整ったことになる。

提出されれば関西電力大飯原発3号機（福井県）に次ぎ全国の原発で2例目となる。

四電を含む電力事業者が提出した緊急安全対策の報告書の調査が不十分だとし、保安院が再調査を指示していた。

### 原発斜面の安定

### 検討課題に追加

保安院、再評価指示

経済産業省原子力安全・保安院は11日、耐震や津波の安全性を重点的に検討すると決めた国内9原発につ

いて、電力会社などに安全性の再評価を指示した。関西電力美浜、大飯、高浜、日本原子力発電敦賀の各原発と、日本原子力研究開発機構の高速増殖原型炉もんじゅは、周辺斜面の安定性も検討課題に追加した。このほかに指示したのは北海道電力泊原発、東北電力東通原発、中部電力浜岡原発、日本原子力発電東海第二原発。地震の連動の考慮、活断層や津波の調査などを求めている。斜面の安定性は、専門家の指摘を踏まえ加えることにした。